



JGA ルールテスト 練習問題 A

テスト時間 : 60 分

100 問四者択一方式(4 つの選択肢から正解を 1 つだけ選びます)

資料閲覧不可

注意事項

- ① 別途記述がなければ、設問はストロークプレーとする。
- ② 別途記述がなければ、設問はローカルルールが制定されていないものとする。
- ③ 別途記述がなければ、規則の重大な違反は生じていないものとする。
- ④ 正解は最新の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」に基づく。
- ⑤ 各設問の正解は 1 つのみです。
- ⑥ 個人で使用する目的以外で複製、頒布、転載、二次使用は禁止いたします。
- ⑥ 本テストでは問題用紙はテスト終了後回収いたします。

各設問の正解を1つ選び回答用紙にその番号をマークして下さい。

1. バンカー内の球をストロークするためにバックスイングを行ったときにクラブがそのバンカーの砂に触れた。この場合の適用規則はどれか。

- ① 12.1
- ② 12.2
- ③ 13.1
- ④ 13.2

2. 規則で認められていない人がリプレースした球をプレーした。この場合の適用規則はどれか。

- ① 4.2
- ② 6.3
- ③ 14.2
- ④ 14.7

3. 球がペナルティーエリア内のプレー禁止区域に止まった。この場合の適用規則はどれか。

- ① 16.1
- ② 17.1
- ③ 18.1
- ④ 19.1

4. 委員会が事実問題を決定する場合、ビデオの証拠の使用は「肉眼」基準によって制限されることが規定されている規則はどれか。

- ① 1.3
- ② 14.1
- ③ 20.1
- ④ 20.2

5. プレーヤーが罰を含む規則に違反したことを知っていて、故意にその罰を適用しなかった場合に適用される規則はどれか。
- ① 1.1
 - ② 1.2
 - ③ 1.3
 - ④ 1.4
6. ストロークプレーで、ホールアウトせずに次のホールのプレーをした場合に適用される規則はどれか。
- ① 1.1
 - ② 1.3
 - ③ 2.1
 - ④ 3.3
7. 一時的な水の中で動いている誤球に対してストロークを行った場合、適用される規則はどれか。
- ① 6.3
 - ② 9.4
 - ③ 14.6
 - ④ 20.2
8. プレーヤーがストロークを始めた後に球が動いたが、そのままその球をストロークした場合、適用される規則はどれか。
- ① 9.1
 - ② 9.2
 - ③ 9.4
 - ④ 9.5
9. ストロークのためのスタンスを取り始めた後にキャディーをプレーの線の後方に立たせた場合、適用される規則はどれか。
- ① 8.1
 - ② 8.2
 - ③ 10.1
 - ④ 10.2

10. ラウンド中に目的外グリーンで球を転がしてテストをした場合、適用される規則はどれか。
- ① 4.3
 - ② 6.7
 - ③ 13.1
 - ④ 14.1
11. ドロップした球が救済エリアに落ちた後にその救済エリアの外に止まった。この場合、適用される規則はどれか。
- ① 14.2
 - ② 14.3
 - ③ 14.4
 - ④ 14.5
12. 球が自らの勢いでフェアウェイの地面にくい込んだ。この場合、適用される規則はどれか。
- ① 14.3
 - ② 15.3
 - ③ 16.3
 - ④ 17.3
13. 暫定球が認められる場合について規定している規則はどれか。
- ① 18.1
 - ② 18.2
 - ③ 18.3
 - ④ 18.4
14. マッチプレーで、裁定を要請する場合の手続きが規定されている規則はどれか。
- ① 3.1
 - ② 3.2
 - ③ 20.1
 - ④ 20.2

15. パッティンググリーン上でボールマーカを置いたままパットした場合に適用される規則はどれか。
- ① 4.3
 - ② 10.1
 - ③ 10.2
 - ④ 14.1
16. フェアウェイの球の真後ろにある露を取り除いて球のライを改善した。この場合に適用される規則はどれか。
- ① 8.1
 - ② 8.2
 - ③ 15.1
 - ④ 15.2
17. プレーの中断中にプレーヤーが球を拾い上げている間に、その球のライが変えられた場合に適用する規則はどれか。
- ① 5.7
 - ② 8.1
 - ③ 14.2
 - ④ 15.1
18. マッチプレーのコンシードについて規定している規則はどれか。
- ① 1.2
 - ② 2.2
 - ③ 3.2
 - ④ 20.2
19. 他のプレーヤーの球が自分のプレーの障害となる場合に適用する規則はどれか。
- ① 15.1
 - ② 15.2
 - ③ 15.3
 - ④ 15.4

20. 旗竿に付き添っている人がプレーヤーの動いている球の方向を故意に変えた場合に適用する規則はどれか。

- ① 11.1
- ② 11.2
- ③ 13.1
- ④ 13.2

21. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① アウトオブバウンズから生長している樹木のインバウンズにある部分はアウトオブバウンズである。
- ② 境界杭や境界線は白色としなければならない。
- ③ 境界を地面に塗られた線で定める場合、その線自体はアウトオブバウンズである。
- ④ 境界がフェンスポストで定められる場合、境界線はそのフェンスポストの支柱のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

22. 下記の「一時的な水」の定義の空欄に入るものはどれか。

「単に地面が濡れている、ぬかるんでいる、軟らかい、またはプレーヤーが地面に立ったときに水が 見える、というだけではこの条件を満たさない。」

- ① 一時的に
- ② 瞬間的に
- ③ 近くに
- ④ スタンスの場所に

23. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① インプレーではない球は誤球である。
- ② 規則が「止まっている球」に言及する場合、それはインプレーの球ではないことを意味する。
- ③ 球をマークして拾い上げる場合、マークをした時点でその球はインプレーの球ではなくなる。
- ④ 規則で認められていないのに別の球に取り替えたときは、元の球はまだインプレーの球である。

24. 下記の「動かさない障害物」の定義の空欄に入るものはどれか。

「次の障害物をいう：

- ・ 、またはその障害物やコースを壊さずには動かすことができない。」
- ① 特別な労力を要せずには
 - ② 他の人の力を借りずには
 - ③ 不合理的な努力なしには
 - ④ 特別な努力なしには

25. 次のうち、外的影響に該当するものはどれか。

- ① 自然の力
- ② プレーヤーのパートナー
- ③ 動いている別の球
- ④ プレーヤーの相手

26. 救済エリアの大きさを決定するためにクラブレングスを使用する場合、次のうち、正しいのはどれか。

- ① 溝を直接越えて計測することはできない。
- ② 木の中を通して計測することはできない。
- ③ 自然にうねった地面の中を通して計測することはできない。
- ④ 壁の中を通して計測することはできない。

27. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① バックスイングはストロークに含まれる。
- ② 練習スイングを行っているときに偶然に球を打った場合はストロークとみなされる。
- ③ 規則が「球をプレーすること」に言及する場合、その意味はストロークを行うことと同じである。
- ④ ダウンスイングの間に球を打たないことを決めてクラブを意図的に止めたとしてもストロークを行ったとみなされる。

28. 次のうち、誤所からのプレーではないものはどれか。

- ① プレー禁止区域から球をプレーすること
- ② ドロップした球を所定の救済エリアの外からプレーすること
- ③ 規則がリプレースを求めているのに、リプレースせずにプレーすること
- ④ ティーイングエリアの外からプレーすること。

29. 次のうち、定義「障害物」はいくつあるか。

- ・ プレーヤーの用具
- ・ 旗竿
- ・ レーキ
- ・ 道路の舗装に使われている砂利

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

30. 次のうち、ジェネラルエリアとなるのはいくつあるか。

- ・ バンカー
- ・ ティーイングエリア
- ・ 目的外グリーン
- ・ ペナルティーエリア

- ① なし
- ② 1つ
- ③ 2つ
- ④ 3つ

31. 次のうち、ストロークと距離の処置がない規則はどれか。

- ① 規則 16
- ② 規則 17
- ③ 規則 18
- ④ 規則 19

32. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① ミミズは定義「動物」には含まれない。
- ② ミミズが掘った穴は定義「動物の穴」である。
- ③ 生きているミミズは定義「ルースインペディメント」である。
- ④ ミミズが穴から掘り出して分離している物は定義「動物の穴」である。

33. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① 委員会が不可分な物として定めた人工物は障害物でも境界物でもない。
- ② 不可分な物の一部が動かしたとしても、その部分は動かせる障害物ではない。
- ③ 不可分な物とは罰なしの救済が認められない人工物、または自然物をいう。
- ④ 定義上の動かさない障害物を委員会が不可分な物と定めることはできない。

34. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① プレー禁止区域は自動的に異常なコース状態とみなされる。
- ② プレー禁止区域は自動的にペナルティーエリアとみなされる。
- ③ プレー禁止区域は異常なコース状態か、ペナルティーエリアのいずれかの部分として定めなければならない。
- ④ 委員会は規則で列挙する理由がないのにプレー禁止区域を採用してはならない。

35. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① ペナルティーエリアの色を委員会がマーキングしていなかった場合、イエローペナルティーエリアとして扱う。
- ② 委員会が水域の縁を定めていない場合、ペナルティーエリアの縁はその水域の水際で決定される。
- ③ ペナルティーエリアの縁の内側の人工物はそれが地面の上方にあってもそのペナルティーエリアの一部である。
- ④ 地上の水路に水が入っていない場合はペナルティーエリアとして定めることはできない。

36. 次のうち、ホールの直径はどれか。

- ① 4 インチ
- ② 4.25 インチ
- ③ 4.5 インチ
- ④ 5 インチ

37. 次のうち、球のライに含まれないものはどれか。

- ① 動かさない障害物
- ② 不可分な物
- ③ 境界物
- ④ ルースインペディメント

38. 下記の定義「レフェリー」の空欄に入るものはどれか。

を決定し、規則の適用をするために委員会が指名したオフィシャル。

- ① 事実
- ② 事実問題
- ③ 事実関係
- ④ 実際に起きた事実

39. 次のうち、ティーの長さとして正しいのはどれか。

- ① 4 インチ以下
- ② 4.25 インチ以下
- ③ 4.5 インチ以下
- ④ 5 インチ以下

40. 次のうち、定義「改善」として正しいのはどれか。

- ① プレーヤーがストロークに対して潜在的な利益を得るためにそのストロークに影響を及ぼす状態、またはプレーに影響を及ぼす他の物理的な状態の 1 つまたは複数を変えること。
- ② プレーヤーが次のプレーに対して潜在的な利益を得るためにそのプレーに影響を及ぼす状態の 1 つまたは複数を変えること。
- ③ プレーヤーがストロークに対して潜在的な利益を得るためにそのストロークに影響を及ぼす状態の 1 つまたは複数を変えること。
- ④ プレーヤーが潜在的な利益を得るためにそのストロークに影響を及ぼす状態の 1 つまたは複数を変えること。

41. ラウンド中に不適合クラブを1回だけ使用した時の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 失格
42. プレー再開の際、ボールマーカが水に流されて元の場所から少し動いていたことが分かっていたが動かされたその場所に球をプレースしてプレーした場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 失格
43. 中断中にジェネラルエリアで拾い上げていなかった球を動かしてしまった場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 失格
44. 動かさない障害物を動かしてスイングの区域を改善し、その球の後ろを踏みつけた場合の罰はどれか。
- ① 一般の罰
 - ② 3 罰打
 - ③ 4 罰打
 - ④ 失格
45. 風向きを知ろうとハンカチを使って空中になびかせた場合の罰はどれか。
- ① 一般の罰
 - ② 罰なし
 - ③ 最初の違反で一般の罰、2 回目の違反で4 罰打
 - ④ 最初の違反で一般の罰、2 回目の違反で失格

46. ジェネラルエリアにある球のすぐ後ろで邪魔になっている砂を取り除いた場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 失格
47. ペナルティーエリアの中にある球の近くにあるルースインペディメントに触れた場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 失格
48. A はホール近くに止まっている球をパッティンググリーンの外からプレーする際に球止めとするために残しておくように B に依頼されたので同意した。B はその援助となる A の球を残したままストロークをした。二人ともそれが規則違反だと知らなかった場合の罰はどれか。
- ① B が一般の罰
 - ② 二人とも一般の罰
 - ③ A が失格
 - ④ 二人とも失格
49. 球の箇所をマークしないでパッティンググリーン上でホールに向けて商標マークを合わせるためにその球を回転させた場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 失格

50. ストロークを行う準備中にクラブで球に故意に触れたが球は動かなかった場合の罰打はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

51. 球をドロップする救済エリア内のルースインペディメントを取り除いた場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

52. パッティンググリーン上の球をリプレースした後、球が風によって少し動いた。そして球をリプレースしないで止まったところからプレーした。この場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

53. パッティンググリーン上で別のプレーヤーの動いている球を故意に止めた。この場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

54. 自分の球が木の上にあると考えてその球が落ちてきて見つかることを望んで木をゆすって落とした。その場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 3 罰打

55. プレーが再開されたが前の組が3組ティーにいたのでドライビングレンジで練習をした場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

56. ラウンド中断中にキャディーに目的外グリーンをテストさせた場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

57. パッティンググリーン上でプレーされた球が別のプレーヤーに偶然当たった。プレーをあるがままに続けた場合の罰打はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 3 罰打

58. 大きい岩を取り除くために他のプレーヤーに手助けを受けて押しのけた。この場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

59. ティーイングエリアからプレーした球が跳ね返ってそのティーイングエリア内に止まった。その球を拾い上げ、ティーアップしなおしてそのティーイングエリアからプレーした場合の罰打はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

60. 球をドロップしなければならないのに救済エリアに球をプレースしてプレーした場合の罰打はどれか。

- ① 1 罰打
- ② 一般の罰
- ③ 3 罰打
- ④ 4 罰打

61. 次のうち、規則で説明している「ゴルフゲーム」について正しいのはどれか。

- ① ゴルフは 1 つの球を 1 つのクラブで打つことによってコース上の 18 ホール(またはそれ以下)の 1 ラウンドをプレーする。
- ② ゴルフは 1 つの球を複数のクラブで打つことによってコース上の 18 ホール(またはそれ以下)の複数のラウンドをプレーする。
- ③ ゴルフは球をクラブで打つことによって 18 ホール(またはそれ以下)の 1 ラウンドをプレーする。
- ④ ゴルフは 1 つの球をクラブで打つことによってコース上の 18 ホール以下の 1 ラウンドをプレーする。

62. 2 人のプレーヤーが適用することを知っている規則や罰を故意に無視することに合意する場合、次のうち、正しいのはどれか。

- ① その合意がラウンド前に行われたとしても、その合意をした時点でプレーヤーたちは失格となる。
- ② その合意がラウンド前に行われた場合で、ラウンドをスタートした後にその合意した行動を実行していなければ罰はない。
- ③ その合意がラウンド前に行われた場合でも、その合意に関与したプレーヤーの誰か 1 人がそのラウンドを始める前にその合意を破棄した場合、プレーヤーたちに罰はない。
- ④ その合意がラウンド前に行われた場合で、ラウンドをスタートした後にその合意をした行動を実行していなかったときは、その合意に関与したプレーヤー全員は一般の罰を受ける。

63. 「特定のコースエリア」はいくつあるか。

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

64. 「球の一部が 2 つの特定のコースエリアにある場合、球は次の順番で最初となる特定のエリアにあるものとして扱う。」という規定の順番として正しいのはどれか。

- ① ペナルティーエリア、ジェネラルエリア、バンカー、パッティンググリーン
- ② ジェネラルエリア、パッティンググリーン、バンカー、ペナルティーエリア
- ③ ティーイングエリア、パッティンググリーン、バンカー、ペナルティーエリア
- ④ ペナルティーエリア、バンカー、パッティンググリーン

65. マッチプレーで、次のうち、正しいのはどれか。

- ① コンシードは言葉で伝えなければならない。
- ② コンシードは辞退できるが、撤回はできない。
- ③ キャディーのコンシードは無効である。
- ④ プレーヤーたちはマッチを短縮するためにホールをコンシードすることができる。

66. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① 不適合クラブで暫定球をプレーしたが、元の球が見つかりその暫定球が放棄される場合、罰はない。
- ② ゴルフバックに投げ込んだクラブのクラブヘッド内部の物質が分離してカタカタ鳴るようになった。このクラブは不適合クラブである。
- ③ ラウンド中に緩んだ調節できる構造の部分を締め直すことは規則で認めている「修理」ではない。
- ④ 複数のプレーヤーが 1 つのバッグにそれぞれのクラブを一緒に入れて持ち運ぶことは認められない。

67. 次のうち、ラウンド中に使用することが認められない物はどれか。

- ① 方向を調べるコンパス
- ② 湿度計
- ③ 松脂
- ④ 風向きを調べるためのハンカチ

68. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① ストロークプレーのプレーオフは別のラウンドとなる。
- ② 18 ホールのマッチプレーで、18 ホールを終えてもタイの場合、別途競技規定で決めていなければ、そのマッチはタイとなる。
- ③ ラウンド前のコース上での練習の制限はプレーヤーとキャディーだけに適用される。
- ④ ストロークプレーでは、プレーヤーはその日の自分の最終ラウンドのプレー終了後にそのコースで練習することはできない。

69. 規則の規定の「プレーヤーは委員会が設定したスタート時間にスタート地点でプレーをすぐに始めることができる状態でなければならない」について正しいのはどれか。

- ① スタート時間が 9 時 00 分と設定されているプレーヤーのスタート時間には 9 時 00 分 01 秒も含まれる。
- ② 「プレーをすぐに始めることができる状態」とは 1 本のクラブ(ただしパターは除く)と 1 つの球を持ってスタート地点にいる状態を意味する。
- ③ この規則でいう「スタート地点」とはプレーヤーが自分のラウンドを始めるホールのティーイングエリアのことである。
- ④ 合理的な理由なしにスタート時間より早くプレーした場合は、競技の行われるコース上で練習したことになり、失格となる。

70. プレーヤーが突然の病気や怪我に見舞われた場合に委員会が通常そのプレーヤーに認める回復時間として正しいのはどれか。

- ① 3 分
- ② 5 分
- ③ 10 分
- ④ 15 分

71. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① プレーヤーがインプレーの球として別の球に取り替えた場合、元の球はもはやインプレーの球ではない(それがコース上に止まっていたとしても)。
- ② 球をある箇所にリプレースする場合、プレーヤーは球を取り替えることが認められず、この規定については例外はない。
- ③ 規則で認められていないのに別の球に取り替えた場合、元の球はまだインプレーである。
- ④ プレーヤーが方法はどうであれ自分の元の球の代わりに別の球をストロークしたときに限り、そのプレーヤーは別の球に取り替えたことになる。

72. 次のうち、ストロークに影響を及ぼす状態を改善したとしても罰がないのはどれか。

- ① パッティンググリーン上で球の直前に軽くクラブを置く。
- ② フェアウェイの球の直後にある砂を払い除ける。
- ③ すでに戻されているディボットを取り除く。
- ④ プレーの線上でパッティンググリーン上にある露を払い除ける。

73. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① パッティンググリーン上の球が風によって動かされた場合は常にリプレースをしなければならない。
- ② ペナルティーエリア内で球の捜索中に自分の球を偶然に蹴飛ばしてしまった場合、罰はない。
- ③ プレーヤーがインプレーの球に故意に触れた場合、球が動かなかった場合には罰はない。
- ④ 救済エリア内でイライラして石を蹴飛ばしたところ、その石が球を動かした。この場合、罰はない。

74. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① プレーヤーのクラブがストローク中に偶然に 2 回以上球に当たった場合は 2 回のストロークとしてカウントする。
- ② 球を正しく打つとき、クラブヘッドが球と接触する必要はない。
- ③ クラブをアンカリングすることを禁止している規定の「前腕」には手首は含まれない。
- ④ 服の一部にクラブを持った手が触れた状態でストロークを行うことは認められない。

75. 次のうち、キャディーができないことはどれか。

- ① パッティンググリーン上でプレーヤーのプレーの線上にある砂を取り除く。
- ② ストロークを行う前にアドバイスをする。
- ③ プレーヤーの球が止まった後に悪化した状態をプレーヤーの承認を得て復元する。
- ④ 異常なコース状態から救済を受けることを決定する。

76. ストロークプレーで、パッティンググリーン上からプレーした自分の球がそのパッティンググリーン上に止まっている他の球に当たった場合、正しいのはどれか。

- ① 罰なしに、再プレー。
- ② 罰なしに、あるがままの状態プレー。
- ③ 2 罰打で、再プレー。
- ④ 2 罰打で、あるがままの状態プレー。

77. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① バンカー内の球の後ろにあるルースインペディメントを取り除いた結果、砂が動いて球のライを改善した場合、罰を受ける。
- ② 球がバンカー内にあるときに、イライラしてクラブで砂を叩いても罰はない。
- ③ 球がバンカー内の動物の穴の一部である砂の山の近くに止まった場合、クラブでその砂の山に触れても罰はない。
- ④ バンカー内に置いてあるバンカーレーキの上に止まっている球は砂に触れていないのでバンカー内の球ではない。

78. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① パッティンググリーン面をテストする意図を持ってパッティンググリーン面に手を置いて罰はない。
- ② パッティンググリーン上で一時的な水からの罰なしの救済を受けてそのパッティンググリーン上にリプレースした球が風で動いた場合、その球は罰なしに新しい位置からプレーしなければならない。
- ③ プレーヤーがうっかりクラブを落とした結果、自分のボールマーカーを動かしてしまった場合、規則に基づく処置に直接的には結び付けられない行動なので 1 罰打を受ける。
- ④ ホールの自然な摩耗はパッティンググリーンへの損傷として修理することができる。

79. 目的外グリーンから罰なしの救済を受ける場合の基点として正しいのはどれか。

- ① ジェネラルエリアの完全な救済のニヤレストポイント
- ② 元の球が止まっていたのと同じコースエリアの完全な救済のニヤレストポイント
- ③ 球
- ④ 球の直後

80. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① リプレースをしなければならない球をドロップしてプレーした場合、プレーした場所がその規則に基づく救済エリア内であったときは、罰はない。
- ② ドロップしなければならない球をリプレースしてプレーした場合、プレーした場所がその規則に基づく救済エリア内であったときは、罰はない。
- ③ リプレースをしなければならない球をドロップしてプレーした場合、プレーした場所がその規則に基づく救済エリア内であったときは、1 罰打を受ける。
- ④ リプレースをしなければならない球をドロップしてプレーした場合、プレーした場所がその規則に基づく救済エリア内であったときは、一般の罰を受ける。

81. ドロップした球をキャディーが故意に止めたが、その球を止めなければその球が救済エリアに止まる合理的な可能性があった場合、正しい裁定はどれか。

- ① 止めた箇所が救済エリアの外であった場合だけ、罰はない。
- ② 止めた箇所が救済エリアの中であった場合だけ、1 罰打を受ける。
- ③ 止めた箇所が救済エリアの外であった場合だけ、1 罰打を受ける。
- ④ 止めた箇所が救済エリアの中か外かにかかわらず、一般の罰を受ける。

82. バンカー内からプレーした球がアウトオブバウンズとなった場合、ストロークと距離の救済の基点はどれか。

- ① 直前のストロークが行なわれた箇所
- ② 直前のストロークが行なわれた箇所の直後の地点
- ③ 元の球があったと思われる箇所の直後
- ④ 元の球があったと思われる箇所

83. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① ルースインペディメントを取り除くときにクラブを使用してはならない。
- ② ルースインペディメントである木の枝のスイングの邪魔になる部分だけを折って取り除くことはできない。
- ③ ルースインペディメントを動かした結果、球を動かした場合、1 罰打を受けて球をリプレースしなければならないが、そのルースインペディメントはリプレースする必要はない。
- ④ 球を救済エリアにプレースする場合、ルースインペディメントを取り除いてはならない。

84. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① コース上の自分の球が別のプレーヤーの援助となっている場合、その他の球がストロークされる前であれば、自分の球をマークして拾い上げることができる。
- ② 別のプレーヤーからプレーの障害となっているので球の拾い上げを要求されたプレーヤーがそれを拒んだ場合は失格となる。
- ③ 自分の球が別のプレーヤーのプレーの障害となる可能性があることをプレーヤー自身が考えただけではこの規則に基づいて球を拾い上げることは認められない。
- ④ プレーヤーが別のプレーヤーに要請されていないのに自分の球を勝手に拾い上げた場合は一般の罰を受ける。

85. 球がジェネラルエリアにあり、異常なコース状態からの救済を受ける場合、正しいのはどれか。

- ① 球を取り替えることはできない。
- ② 球をふくことはできない。
- ③ 救済エリアの基点は完全な救済のニヤレストポイントである。
- ④ 救済エリアはジェネラルエリアに制限されない。

86. 危険な動物の状態から救済を受ける場合、正しいのはどれか。

- ① 球を取り替えることはできない。
- ② 毒ツタも救済の対象となる。
- ③ 救済エリアの基点は最大限の救済を受けることができるポイントである。
- ④ 球がペナルティーエリアにある場合も救済を受けることができる。

87. ティーショットした球がレッドペナルティーエリアに入った場合、罰ありの救済の選択肢はいくつあるか。

- ① 2
- ② 3
- ③ 4
- ④ 5

88. ストロークと距離の処置について正しいのはどれか。

- ① 規則がプレーヤーに特定の方法で救済を受けることを求めている場合でもプレーヤーはストロークと距離の救済を選択することができる。
- ② ストロークと距離の罰に基づいて別の球をインプレーにした場合、元の球は紛失球となる。
- ③ プレーヤーが球を拾い上げることが認められていないのに自分の球を拾い上げた場合、そのプレーヤーはその後でストロークと距離に基づいてプレーすることを決めれば、球を拾い上げたことに対する罰は追加されない。
- ④ 球がパッティンググリーン上にある場合、ストロークと距離の救済を受けることはできない。

89. アンプレヤブルの処置で後方線上の救済を受ける場合、正しいのはどれか。

- ① 基点は完全な救済のニヤレストポイントである。
- ② 救済エリアはどのコースエリアでも良い。
- ③ 基点から 1 クラブレンジス以内にコースエリアが複数ある場合、ドロップした球はその球の元の位置と同じコースエリアの救済エリアに止まらなければならない。
- ④ 基点から 1 クラブレンジス以内にコースエリアが複数ある場合、ドロップした球はその球を救済エリアにドロップしたときに最初に触れたのと同じコースエリアの救済エリアに止まる必要はない。

90. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① プレーヤーはレフェリーの裁定を委員会に上訴する権利を持たない。
- ② 委員会がハンディキャップの計算を誤ったことで、本来の優勝者ではない別のプレーヤーが優勝していたことが競技終了後に分かった場合、その誤りはもはや訂正することはできない。
- ③ 競技中に参加資格がないことが発覚した場合、そのプレーヤーは失格になる。
- ④ マッチの結果が最終となった後に規則 1.2 や 1.3 に基づいてプレーヤーを失格にすることはできない。

91. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① アウトオブバウンズの境界を杭で定める場合、一般に杭と杭の間隔は 30 歩未満の距離とすべきである。
- ② コースには必ず境界がなければならない。
- ③ ティーイングエリアからプレーされた球だけに適用するアウトオブバウンズを定めることはできるが、ローカルルールに明記しなければならない。
- ④ ホールとホールの間にはアウトオブバウンズの境界を定めることは認められないローカルルールの 1 つである。

92. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① 同じホールの池を、使用するティーイングエリアによってその扱いをイエローペナルティーエリアとするか、レッドペナルティーエリアとするかをローカルルールで定めることができる。
- ② ペナルティーエリアのすべての部分をプレー禁止区域と定めることはできない。
- ③ 定義「ペナルティーエリア」の「コース上」という語句はコースが所有している土地の上ということの意味している。
- ④ レッドペナルティーエリアにドロップゾーンを設置する場合、そのレッドペナルティーエリアのグリーン側に設置すべきである。

93. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① レッドペナルティーエリアの中に球があることが分かっている場合にプレーヤーに暫定球を認めるローカルルールを制定することは認められない。
- ② エアレーションホールから罰なしの救済を認めるローカルルールを制定することは認められない。
- ③ 球がアウトオブバウンズとなった場合、2 罰打で前方からプレーすることを認めるローカルルールの救済の選択肢は暫定球をプレーしていた場合には使うことはできない。
- ④ アウトオブバウンズの区域をプレー禁止区域として定めるローカルルールを制定することは認められない。

94. 適合ドライバーヘッドのローカルルールが適用とならないドライバーはどれか。

- ① 1999 年より前に製造されたドライバー
- ② 2000 年より前に製造されたドライバー
- ③ 2001 年より前に製造されたドライバー
- ④ 2002 年より前に製造されたドライバー

95. ティーイングエリアの幅について推奨されている距離はどれか。

- ① 4～5m
- ② 5～7m
- ③ 6～8m
- ④ 7～9m

96. 次のうち、TIO の障害について正しいのはどれか。

- ① TIO には委員会が別途定めなければ、その TIO を支えているガイワイヤは含まれない。
- ② TIO の最も外側の縁は、TIO の中にあるかどうかを決めるときに使われる。
- ③ TIO の「前」にある球は「物理的な障害」が生じているものとみなされる。
- ④ TIO の「上」にある球は、「物理的な障害」と「介在の障害」の両方が存在している。

97. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① マッチプレーのレフェリーは自分が目にしたすべての規則違反に対応する責任がある。
- ② レフェリーは規則違反をしそうになっているプレーヤーに警告する義務はない。
- ③ プレーヤーと別のプレーヤーの証言が対立している場合、疑わしい点はプレーヤーに不利に裁定すべきである。
- ④ レフェリーが規則についての一般的なガイダンスの範囲で間違った情報を与えた場合はプレーヤーは罰を免除されるべきである。

98. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① アマチュアゴルファーは表彰的賞品を受け取ることはできない。
- ② アマチュアゴルファーはその価格に関わらず賞品券を受け取ってはならない。
- ③ アマチュアゴルファーは限度額なしにホールインワン賞を受け取ることができる。
- ④ アマチュアゴルファーは賞金のためにゴルフプレーをすることができる。

99. 次のうち、正しいのはどれか。

- ① ストロークプレーの A と B の 2 人のプレーオフで、A が規則違反で失格となった場合でも、B はそのプレーオフのホールをホールアウトしなければならない。
- ② マッチプレーでプレーヤーが失格となった場合、そのプレーヤーがその競技の予選でメダリストとなっていた場合はその賞を受け取る権利がある。
- ③ マッチプレーであるプレーヤーが最初のマッチに棄権した場合、委員会が競技の条件でそうした状況に対処する方法を明記していなかった場合、委員会はそのプレーヤーの相手を不戦勝としなければならない。
- ④ ストロークプレーで、最初のラウンドの前にあるプレーヤーが棄権した場合、補欠を繰り上げることはできない。

100. 正しい処置について疑問があり、2つの球をプレーする場合、正しいのはどれか。

- ① 次のストロークを行う前に2つの球をプレーすることを告げなければならない。
- ② 規則が認める場合、どちらの球を採用したいのかをあらかじめマーカーに伝えなければならない。
- ③ プレーヤーがどちらの球を採用したいかを告げていなかった場合、先にプレーした球が自動的に選択した球として扱われる。
- ④ 第2の球をプレーすることを告げずに第2の球をプレーした場合、誤球のプレーとなる。

JGA ルールテスト
練習問題 A 正解

1	②	21	③	41	④	61	①	81	④
2	③	22	②	42	③	62	③	82	①
3	②	23	①	43	②	63	④	83	③
4	④	24	③	44	③	64	④	84	③
5	③	25	③	45	④	65	③	85	③
6	④	26	③	46	③	66	①	86	④
7	①	27	③	47	①	67	④	87	②
8	①	28	④	48	②	68	①	88	①
9	④	29	③	49	②	69	③	89	②
10	③	30	②	50	②	70	④	90	①
11	②	31	①	51	①	71	①	91	①
12	③	32	③	52	③	72	①	92	①
13	③	33	①	53	③	73	②	93	③
14	③	34	③	54	①	74	②	94	①
15	④	35	③	55	③	75	④	95	①
16	①	36	②	56	③	76	④	96	④
17	①	37	④	57	③	77	②	97	②
18	③	38	②	58	①	78	①	98	③
19	③	39	①	59	①	79	②	99	②
20	②	40	①	60	②	80	③	100	③